

1. 単元名 Better Choices. A Better World. 「責任のある選択の自由」
Unit3 Fair Trade Event (New Horizon English Course 3 (東京書籍))

2. 単元について

本単元では、「フェアトレード」が主題となっており、発展途上国の人々の生活の様子やフェアトレードの仕組みなどが紹介されている。具体的には、ガーナのカカオ農場で働く子どもたちの状況と、そうした人々の生活環境を改善するためのフェアトレードの仕組み、さらには世界の実態を踏まえて私たちが取るべき行動についての提言が示されている。登場人物の一人は、緑市で開かれたイベントを通してフェアトレードを知り、自分たちには今何ができるのかということについて意見を述べている。人権や国際貢献について考えるきっかけを与えてくれる題材であると言える。

言語材料としては、Unit2に引き続き現在完了形の文を扱っているが、本単元では「経験用法」と「完了用法」の文が取り上げられている。既習の「継続用法」との違いも意識させながら、動詞の形や意味などに注意を向けさせたい。また、不定詞の「原因を表す副詞的用法」の文も扱われている。

3. 生徒の実態について

本校の生徒は、中学校1年生の社会科でフェアトレードに触れており、その名称や仕組みについてはある程度の知識を有している。一方で、学校周辺にはフェアトレード認証を受けた製品を扱っている店舗があるものの、その数が非常に限られており、実生活でフェアトレード商品を目にすることはほとんどないため、身近なものであるという認識はないだろう。補助資料で補いつつ、これまでに得てきた知識と生活経験を活用させれば、意欲をもって題材について読むようになり、教科書テキストの情報を読み取ることが可能であると考えられる。ただし、テキスト情報の表面的な理解に留まらせることなく、テキストに込められたメッセージについて、意図的に仕組まれた発問を通して考えを深めさせたい。

これまでに行ってきた表現活動で、「～したことがある」「～に行ったことがある」といった現在完了を用いるべき表現に何度か触れてきた。生徒たちは、現在完了の形・意味・用法については少なからず知識を有しており、その有用性についても感じ取っているだろう。言語活動においては、その習得を目指し、意欲的に取り組む生徒が多いと考える。辞書等で適切な表現や語彙を調べるといった、自ら進んで英語で表現しようとする姿が多く見られる。その一方で、意味の伝達よりも正しさを強く意識し、即興的に英語を使用する姿勢が弱いと感じる。

普段の授業において、ペアや4人グループでコミュニケーション活動を多く行っており、生徒たちは意欲的に学習に取り組んでいる。個人で行う学習活動よりも、クラスメイトと意見を交換したり議論したりする学習活動の方が活発である。ただ、失敗や間違いを避ける傾向にあるため、正誤が問われるものや表現の正確さに自信がもてないものについては、活動が消極的になってしまう。特に、学級全体で意見や考えを共有する場面においては、積極的な挙手による発言は一部の生徒に限られてしまうため、全生徒が意見を発表できる雰囲気を用意する必要があると考える。発問づくりや表現に必要な語彙や文法については、教師の意図を十分に理解させるために、容易な表現を用いたり、段階的に発問を組み立てたりする工夫が必要となるだろう。

4. 単元の指導について

(1) 全体研究との関わり（「見方・考え方」を働かせた学びを通して身に付けた資質・能力を見取るための工夫について）

全体研究で目指す「新たな世界を主体的に創造する生徒」を育成することを、本校英語科では、「言語や文化を他者との関わりから捉え、目的・場面・状況等に応じて情報や自分の考えなどを伝え合う言語活動を通して、『コミュニケーションを図る資質・能力』を高める生徒」を育成することと言い換える。つまり、外国語によるコミュニケーションにおける「見方・考え方」を働かせた学びを通して、『伝える力』の育成を目指す。

本単元における「見方・考え方」を働かせた学びについては、以下のように整理する。

カカオ農園で働く子どもたちの状況とフェアトレードの仕組みを理解することを通して、普段行っている「ものを買う」という行為が、世界を変える可能性を秘めているということを認識し、様々な人が目にする新聞へ自分の意見を投稿するという場面において、身近にできる世界貢献について自分の考えを整理し、まとめ、表現するような学び。

上記の「見方・考え方」を通して生徒が身に付けた資質・能力を見取るために、単元の最後にはパフォーマンスを伴う課題を設定する。生徒のパフォーマンスを評価するために、具体的指標を示したルーブリックを用いて、教師だけでなく学習者である生徒自身にも評価ができるようにする。また、ポートフォリオを用いて毎回の授業で学んだことや考えたことなどを書き留める。そうすることで、教師が学習者の学びを把握したり学習者自身も自らの学びを振り返ったりすることができるようになる。単元の最後に取り組むパフォーマンス課題においても、自らの考えを整理・構築、あるいは再構築する際に活用することができる。具体的な評価方法については後述する。

(2) 教科研究との関わり (『伝える力』を育むための対話的な学習活動の工夫について)

①世界の問題が自分たちの生活にも身近な問題であることとして捉えさせる

生徒にとって、チョコレートは身近なものである。しかし、原料であるカカオや主な生産地であるガーナについては、あまり知られていない。知っていたとしても身近ではない。本単元で紹介されている発展途上国の状況についても実生活で触れることのできない、まさに「遠い国」の話である。フェアトレード商品についても実際に目にする場面はあまり多くない。題材と生徒の間にある隔たりを埋めることができなければ、主題について真剣に考えることは難しいだろう。買い物という身近な行為が生産者である人々に影響があることに着目させるとともに、昨今よく耳にする過労死や所得格差などといった問題にも目を向けさせたい。そうすることで題材に対する当事者意識が高まり、テキストに真剣に向き合えるようになると思う。

②テキストを経験則や背景知識に照らし合わせて読ませる

本単元では現在完了形(経験用法・完了用法)と不定詞(原因を表す副詞的用法)が言語材料として扱われる。「～したことがある」や「～して…だった」といった経験を踏まえて感じたことなどを表現することができるようになる。言語材料の導入では、フェアトレードやガーナのことなどについての経験則や背景知識を問う現在完了形を用いることで自然な言語使用場面をつくることができるだろう。単元末に取り組むパフォーマンス課題においても、生徒が意識的に新出言語材料を用いることができるようになることを期待する。さらに、本単元のテキストを読む際には、発問を工夫したい。先に述べたように、本単元で扱っている内容は非常に複雑であるため、テキストにある情報量だけでは内容を正確に理解することは難しい。生徒の経験則や背景知識を引き出す発問を繰り返し、行間を埋めながら理解を深めていく必要があると思う。

③単元を通して身につける資質・能力を意識させる

主体的な学びを促すために、生徒に見通しをもたせる。本単元の最後に行うパフォーマンスを伴う課題とその評価規準を単元の最初に示すことで、本単元で学ぶ内容や身に付ける知識や技能などを意識させることができるだろう。身近で実際的な場面を設定し、単元を通して学んだ言語材料や題材に関する考えなどが表出されるようなタスクを課す。生徒のパフォーマンスは、客観的な評価規準に照らし合わせて評価され、教師も学習者自身も単元の学習の成果を振り返ることができるだろう。

④自分の考えを可視化させる

毎回の授業で学んだことや感じたこと、考えたことを記録させる。そうすることで、学習者自身は自らの学びの振り返りをすることができ、自らの学習の状況を把握し、調整に活用したり、題材についての考えを深めたりする資料にもなる。教師は、生徒の学びを把握し、自らの指導の振り返りにも活用することができる。また、パフォーマンス課題においては、生徒は学びの記録をもとに自らの意見を構築する際の足がかりにすることができるだろう。生徒のパフォーマンスには表出しない部分を見取ることで、多面的に評価することができるようになると思う。

5. 単元の目標

- ・現在完了形(経験用法・完了用法)や不定詞(原因を表す副詞的用法)を用いた文の形、意味、用法に関する知識を身につけ、これまでに経験したことやすでにし終えていることについて述べたり尋ねたり、理由を添えて気持ちを述べたりすることができる。[知識及び技能]
- ・テキストの情報や書き手のメッセージを読み取り、フェアトレードの仕組みや発展途上国で働く人々の状況を理解した上で、身近にできる国際貢献について深めた自分の考えを整理しながら自分なりの意見として表現することができる。[思考力、判断力、表現力等]
- ・書き手や話し手の意向を理解しようとしたり、読み手や聞き手に自分の考えや意見が伝わりやすくなるように表現しようとしたりしている。[学びに向かう力、人間性等]

山梨大学教育学部附属中学校 CAN-DO リスト (令和元年度 NEW HORIZON 対応) との関連

| | |
|-----|--|
| | 外国語理解の能力 WRITING (書くこと) |
| 3年生 | ○身近な話題や社会的な話題について、読み手を意識しながら自分の考えを述べたり、まとまりのある英語を書いたりすることができる。 |

7. 単元の評価および指導計画

(1) 評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| ①現在完了や不定詞の正しい用法を理解し、適切に使うことができる。 ②ガーナの人々の生活状況やフェアトレードの仕組みについて理解している。 | <読むこと> ①まとまりのある英文を読んで、情報を正しく読み取ったり書き手の意向を理解したりすることができる。 <書くこと> ②読んだことをもとに、自分の考えを整理し、情報を取捨選択しながら適切な表現を用いて書くことができる。 | ①世界で起こっている問題について、自分の暮らしと関連づけて考えようとしている。 ②読み手に自分の意見が伝わるように表現しようとしている。 ③まとまりのある英文を読んで、書き手の意向を理解しようとしている。 |

※各観点の名称については、記述の便宜上、以下のようにする。

知識・技能：ア 思考・判断・表現：イ 主体的に学習に取り組む態度：ウ

(2) 評価方法

①自己評価を中心とした学びの記録（ポートフォリオ）

- 毎回の授業で学んだことや感想などを記録し、指導者だけでなく学習者自身が自らの学習状況を把握できるようにする。また、単元を通して「何について」学び、「どのように」学ぶかといった学習の見通しを持たせることで、主体的な学びを促す。さらに、単元のテーマに関わる自分の考えを書き留めていくことで、単元の学習を通して身につけさせたい資質や能力がどれほど身につけているのか、指導者だけでなく学習者自らが調整しながら学習を進めることができるようになる。

②ルーブリックを用いたパフォーマンス評価

- パフォーマンス課題を評価するための規準として、パフォーマンスの内容、構成、言語についてルーブリックで示すことにより、単元の学習を通して「何ができるようになる」のかということについて、指導者だけでなく学習者にも把握できるようにする。また、パフォーマンス評価をすることによって、単元の学びを通して身に付けた資質・能力を見取ることができる考える。

(3) 指導計画

| 時間 | ○ねらい ・学習活動 | 評価規準 | 評価方法 |
|--------|---|------------|----------------------------|
| 1 | ○現在完了（経験用法）の形、意味、形式を理解し、運用することができる。 ・相手の経験の有無について尋ねたり、自分の経験を答えたりする。 | アー① | 活動の観察 ワークシート ポートフォリオ |
| 2 | ○現在完了（完了用法）の形、意味、形式を理解し、運用することができる。 ・すでにし終えていることやまだし終えていないことなどを相手に尋ねたり伝えたりする。 | アー① | |
| 3 | ○不定詞（原因を表す副詞的用法）の意味、形式を理解し、運用することができる。 ・ワークシートを用いて不定詞の用法を理解する。 | アー① | |
| 4 | ○フェアトレードの存在、フェアトレード商品の価格が高くなる理由を知る。 ・消費活動について振り返る。 ・教科書のテキストと補助資料からフェアトレードの簡単な仕組みを理解する。 | アー② ウー① | |
| 5 | ○発展途上国における問題点について理解し、事実から自分の考えを構築することができる。 ・教科書のテキストを深く読み、自分の考えをもつ。 | アー② イー① | |
| 6 時 | ○世界の子どもを救うためにできることについて考えをもつことができる。 ・テキストを読み、自分の考えを整理する。 | イー① ウー① | |
| 7 | ○教科書本文を読むことを通じて感じたことや考えたことについて、まとまりのある英文で書くことができる。 ・読み手を意識して、自分の主張をまとまりのある英文で書く。 | イー② ウー② | |
| 8 | ○まとまりのある英文を読んで、書き手の主張を理解することができる。 ・互いの英文を読み合っ、ルーブリックを用いて相互評価を行う。 | イー② ウー③ | |

8. 本時の授業について

- (1) 日時： 令和元年6月29日（土）
- (2) 授業学級：第3学年4組
- (3) 場所： 第3学年4組教室
- (4) 本時のねらい：テキストを深く読むことを通して、世界の子どもを救うためにできることについて考えをもつことができる。

(5) 展開

| 過程 | 学習活動 | 教師による支援 | 留意点 |
|------------|---|---|--|
| 挨拶 (1) | あいさつする | 英語の授業に向かう雰囲気づくりをする。 | |
| 導入 (9) | <p>Better Choices. A Better World.</p> <p>What does “fair trade” bring to the world?</p> <p>教師の発問に答えながら、Part3 のテキストに書かれている内容を思い出す</p> <p>Alex Ghana</p> <p>A lot of cacao Chocolate Poor</p> <p>Because cacao is sold at a low price. No</p> <p>Unfair Work School</p> <p>No.</p> <p>教科書本文を読み、フェアトレードを通じて恵まれない国々の子どもを救うためにできることについて自分なりの考えを整理しよう。</p> | <p>単元のタイトルを提示する</p> <p>単元を貫く問いを提示する</p> <p>発問を通して、part3 の内容を振り返る</p> <p>Saki went to the fair trade event with ...? They watched the video about the people in ...? What does Ghana produce? Cacao is made into ...? Are the cacao farm workers in Ghana rich or poor? Why? Can they make enough money to live if they work hard? What condition do they work under? Many children in Ghana have to ...? Some of the children have never been to ...?</p> <p>Is that fair?</p> <p>本時の目標を提示し、本時で扱う内容について見通しをもたせる</p> | <p>前時に学習した内容を思い返そうとしているか</p> <p>見通しをもっているか</p> |
| 理解 (25) | <p>テキストの主題が何かを考える</p> <p>(1st Reading) 教師の範読を聞きながら、Q&A の答えを見つけるようにテキストを読む</p> <p>Q&A に口頭で答える</p> <p>1. (fair trade) chocolate 2. surprised</p> | <p>本時で扱う教科書本文のテキストを読み、Saki が何を伝えたいと思っているのかを考えさせる</p> <p>We are going to read the e-mail from Saki to Alex. What does Saki want to tell Alex? What kind of message is she trying to tell?</p> <p>教科書本文の内容を押さえる発問を投げかける</p> <p>1. What did Saki try with her family after the fair trade event? 2. How did Saki feel when she watched the video at the event?</p> <p>教科書の範読をする 生徒の考えを聞く</p> | <p>テキストを主体的に読んでいるか</p> <p>テキストの概要を理解しているか</p> |

| | | |
|---|---|--|
| <p>補助発問を通して、テキストのメッセージを読み取る</p> <p>She thought it was great. One is that children in Ghana don't know cacao is made into chocolate. The other is that children in Ghana have never eaten chocolate themselves. They have never read a book about chocolate. / They don't watch TV. / They cannot use the Internet. / There is not a chocolate factory in Ghana. ... They cannot buy chocolate because they don't have enough money.</p> <p>(2nd Reading) Q&A に口頭で答える A: One is choosing fair trade products. The other is learning about the people behind the products. Buying fair trade products.</p> <p>More money goes to them if we buy fair trade products.</p> <p>Children don't have to work. / Children can go to school. / Children can buy(eat) chocolate. / Children will be happy. ...</p> <p>Yes. / No. Sad. / Surprised. ...</p> <p>No. / Unfair. ...</p> | <p>補助発問を投げかけ、テキストの内容理解を深める</p> <p>Did she like the fair trade chocolate? What made her surprised? There are two reasons. What are they?</p> <p>The children in Ghana don't know that cacao is made into chocolate. Why? How did you know that cacao is made into chocolate? The children in Ghana have never eaten chocolate. Why?</p> <p>教科書本文の内容を押さえる発問を投げかける</p> <p>Q: What can we do to support the children in poor countries? Saki has two ideas for that. What are they? You can find the answer in the text. 生徒の考えを聞く</p> <p>What does "choosing fair trade products" mean? Choosing fair trade products is a support for the children in poor countries. Why? If the people in poor countries have enough money, children ...? Please complete the sentence with your idea.</p> <p>Learning about the people behind the products is a support for the children in poor countries. Why? We learned about the cacao farm workers in Ghana. They produce a lot of cacao. It is made into chocolate. We can buy chocolate at a low price, so they don't make enough money to live. Many children in Ghana cannot go to school and they cannot choose their job. They cannot make enough money. They cannot buy things they need to live. Did you know that? How did you feel to hear that? In Japan, we can study at school and we can choose our job. We can be a teacher, a doctor, a lawyer, a writer, a farmer, a painter, a cook and so on. We can make a lot of money if we work hard. We can buy anything we want if we have money. Is that fair? Is it OK to leave it? Saki thinks NO. She learned about the people in Ghana and wants to support them. She is doing something for them. She is trying to do something to the world. Saki's world has been changed. Don't you want to do something for the children in poor countries? Don't we have anything to support them?</p> | <p>テキストから情報を探そうとしているか</p> <p>テキストの情報をもとに、自分の言葉で教師の発問に答えようとしているか</p> <p>テキストを主体的に読んでいるか</p> <p>テキストから情報を探そうとしているか</p> <p>テキストの情報をもとに、自分の言葉で教師の発問に答えようとしているか</p> |
|---|---|--|

| | | | |
|------------|---|---|------------------------|
| 表現 (10) | 主題について考えを整理し，教師の発問に対する自分の意見を，小グループ内で共有する | 主題について自分の考えを整理させる What can you do for children in poor countries? Do you have any ideas to support children in poor countries? What do you hope they will be? 小グループ内で出た意見をクラス内で共有する うまく英語で言えない部分は，適切な表現で言い直す | 主題について自分の考えをもって表現しているか |
| まとめ (5) | 授業で感じたことや考えたことを日本語でワークシートに書き留めておく 次時の学習内容を確認する あいさつする | ポートフォリオに感想を書かせる あいさつする | |

参考文献

- 田中武夫・田中知聡 「英語教師のための発問テクニックー英語授業を活性化するリーディング指導」(2009, 7)
田中武夫・田中知聡 「主体的・対話的で深い学びを実現する！英語授業の発問づくり」(2018, 6)